

様式(細則 5-2)

令和3年6月7日

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

議員名 芦 谷 英 夫



調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため（視察 研修）を（実施 受講）したので、その結果を報告します。

記

- 1、期 日 令和3年5月24日（月）13時～17時
- 2、研修内容 マニフェスト大賞2021キックオフ研修会
- 3、研修先 オンライン
- 4、調査経費 参加費 5,000円
- 5、調査研究活動の概要 別紙のとおり



- 1 日 時 令和3年5月24日（月）13時～17時
- 2 場 所 オンライン
- 3 テーマ 「改革から変革へ 地域から日本を変える」
- 4 概 要 ①（講演1「議会から地方の変革を」早稲田大学名誉教授 北川正恭）独自のローカルマニフェスト掲げるべきで、これには市民と行政の双方が責任を持つ、市民参加を進めるため広報広聴機能を発揮させ、議会力を強め、そのためにも議会事務局と力を合わせる。しっかりとした政策、方向性を掲げないと地方自治がなくなる。首長が議会はいらない！となり二元代表制で双方が切磋琢磨し、変革すべきである。「地方から国を変える、地方は議会から変える。」
- ②（講演2「市民による政策選択から実践までつながるシステムづくり」多治見市長 古川雅典）50自治区長から意見を聞くチャンネルをつくる地域懇談会を行い、事業進行管理、業務執行目標を掲げ、これを人事目標と連動させている。政策推進には、討議課題集、政策資料集、総合振興計画、実行計画などと積み上げ、マニフェスト大賞を励みに市政を推進している。
- ③（事例報告1「オンライン本会議の可能性を探る～模擬本会議を実施した大津市議会からの報告～」大津市議会局長 清水克士）2年4月11日に新型コロナウイルス感染発症、4月20日までに11例が発症し、4月25日から5月6日まで市役所本庁舎を閉鎖した。政策検討会議、議会運営委員会、オンライン本会議実現にかかる法改正意見書の本会議議決などを経て、3年1月29日模擬オンライン本会議を開催した。
- ④ オンライン本会議の法的課題として、地方自治法で定める「出席要件」「会議公開の原則との整合性」などとの課題が残るが、議事運営方式のハード、ソフト両面での確立、非常時での対応でありマニュアル化、オンラインスキルの向上などが必須である。議会BCP（業務継続計画）に新型コロナ対策の強化を盛り込んでいる。
- ⑤ 事例報告3「みんなde議会」敦賀市議会議員 前川和治）議員になる前から「市議会議員と話そう！」をやってきて、議員になってからも継続し、いただいた意見を土台に一般質問、組替動議、修正動議などを行ってきた。マニフェスト大賞で優秀コミュニケーション戦略賞優秀賞に選ばれた。みんなde議会は「自分が治めた税金の使い道について話し合う場」として実践している。
- ⑥（講演3「議会改革から議会の“変革”へ～ワクチン接種予約の変革の提案～」早稲田大学マニフェスト研究所 中村 健）変革の一例として、ワクチン接種予約は行政の枠組み、既存の流れを前提とし混乱が起き、ネット予約で対処できない高齢者がある。小中学校でタブレットが導入されており児童生徒が代わってネット予約する。いま議会は、住民意見の集約、会議の運営、議会運営委員会は機能しているか、事務局の人事や育成強化は適切かなど、「議会改革から議会変革」が必要である。
- ⑦（事例報告4「議会報告会のオンラインの活用や他議会と連携した議会BCPの改定」岐阜県可児市議会議員 澤野 伸）新しい様式の議会報告会として、議場を使い間隔をあけリモートを活用した報告会を実施し、新型コロナウイルスなど非常時の事業継続計画をつくっておくことが重要であり、大津市議会などと連携し、議会BCPの改定などに取り組んでいる。
- ⑧（事例報告5「議長主催による初当選議員勉強会とオンラインへの道のり」愛知県知立市議会前議長 田中 健）知立市は平成25年3月議会基本条例を制定したが、主権者である市民に対して議会として向き合う、という意識の醸成が不足している。30年8月改選で8人の新人議員が誕生し議会改革の息吹をしっかりと継承することを目的として、議長主催初当選議員勉強会を開催した。令和2年1月愛知県独自の緊急事態宣言発令に対応して、議会コロナ対策、議会のICT化、オンライン化を推進している。